



## 新春に寿くー盛大に新年会



1月13日（土）、磯久亭において、平成19年度の新年会が開催されました。60名もの方々が集まったのは、例年にない特筆すべきことです。工夫をこらしたイベントもあり、楽しいひと時を過ごすことができました。

まず、三宅会長・山下前会長、そして当日の雑学講座で講師を務められた木村建一先生（早大名誉教授）の挨拶があり、その後、当会員で作家の山崎光夫さんが乾杯の音頭をとられました。

イベントとしては、市内在住の飛鳥麗舟さん（飛鳥流宗家）による現代吟の朗詠があり、また同じく市内在住の石井松琴先生（日本画家）の正月にふさわしい見事な「松竹梅」の絵画が会場に展示され、それぞれの紹介が三宅会長よりありました。

福引抽選会も行われました。全員に幹事の心のこもった景品が配られ、会場が大いに盛り上がりました。

その後、新入会員の五十嵐勝雄さんの挨拶のあと、1月のお誕生会もありました。（誕生会については別記参照）

また、「東村山稲門会の歌」の歌唱指導が、ただひとりマスターしたという井垣和太さんによって行われました。

最後に大西元会長の挨拶と吉村正さんの早稲田大学の近況報告があり、藤澤博恭さんのリードによる校歌斉唱があり、熱気あふれた新年会の幕を閉じました。

新年会の幹事の皆さん、本当にご苦労様でした。

（まとめ：高鷲近）

<参加者／敬称略、太字は新年会幹事>

赤荻洋一・朝木五朗・**芦田均**・井垣和太・五十嵐勝雄・市川彰彦・市川暢夫・江藤昌明・**岡田一郎**・大西幸夫・**小野智**・**風間和夫**・木谷肇・河野憲一・**小亀輝雄**（総合司会）・小菅宏・小山幾造・佐久間厚・鈴木国夫・高橋文子・高橋鶴次郎・高部素行・高鷲近・滝川桜子・田口政澄・土橋雄次・當摩照夫・**當摩彰子**・戸田志郎・内藤慎・長井治・中村皓一・中村真弓・長野長生・夏山一彦・成田豊太・南湖修一・額田伊久夫・野田数・藤澤博恭・福田昇七・堀田秀夫・増田善任・松永常尚・三宅良太・森川進・森川節子・安田忠治・山下邦康・山室勲・吉田勝・吉村正・山崎光夫・木村建一（招待者）・飛鳥麗舟（招待者）・会員夫人計5名の総勢60人



（写真撮影：赤荻洋一氏）

会からのお知らせ

## ○ 3月度定例役員会

日時 3月3日(土) 13:00~14:30  
場所 ふるさと歴史館 視聴覚室

ニュースの封入作業があります。一般会員の方もご自由にご参加ください。  
欠席の幹事の方は事務局までご連絡願います。

## ○ 第50回東村山雑学講座

日時 3月3日(土) 15:00~16:30  
場所 ふるさと歴史館 視聴覚室  
講師 中島公子(こうこ)氏  
1960年早稲田大学大学院博士課程修了  
早稲田大学講師等を経て元明治大学農学部教授

## 演題 「エルサレム」が語る神の歴史

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地であるエルサレムには人類が「唯一の神」と出会った4000年の歴史が刻みこまれています。現代の教養として、その歴史が語るものに耳を傾けてみませんか。

## ○ 3月度「お誕生会」

日時 3月3日(土) 17:00~19:00  
場所 割烹 丸藤(西武新宿線 久米川駅前)

\* 3月お誕生の方々(敬称略) 21名

朝木五朗、飯村和子、井垣和太、遠藤 誠、大野恵子、岡部幹郎、大森平八郎、窪田淳治、紅松容子、肥沼恒夫、杉山信、鈴木国夫、関一誠、高柳剛、田代光一、豊田友吉、新堀徳明、細萱進、益田善任、山崎光夫、山室勲

## ○ 1月度に稲門会会費を納入いただきました会員は以下の方々です。(敬称略)

五十嵐勝男、高杉 修、高橋文子、町田和夫、森川 進、森川節子、吉村 正  
なお、3月に創立125周年記念事業募金に会費の中から一人当たり1,500円を芳名を添えて大学に寄付をいたします。この募金に累計8万円以上の寄付をされた方は、大隈講堂内に芳名が刻まれて永く顕彰されます。

会費未納の方は郵便振替口座<00160-0-112250>・<名義:東村山稲門会>宛にお振込み願います。お問い合わせは会計幹事の岡田一郎<TEL 042-399-3232>まで。

## 訃報

当会会員山口洋司さん(昭45・文)の御尊父山口三蔵殿(96才)が1月7日逝去なされました。心からご冥福をお祈りいたします。  
なお、会則により早稲田大学白井総長名で弔電を差し上げ、生花をお供えいたしました。

## 「世界の民家とソーラーハウス」



平成19年1月13日(土)  
ふるさと歴史館視聴覚室

講師 木村健一 早稲田大学名誉教授・  
国際人間環境研究所代表

年の初めにふさわしく、民家に見る自然エネルギー利用の工夫とソーラーハウスなどの現代技術とを対比させ、地球環境問題を考えさせるお話となった。

まず、神戸近郊に現存する日本最古の民家「箱木千年屋」、室町時代の母屋と江戸時代の離れで講師が行った実測が披露された。母屋の急勾配の大きな厚い屋根は断熱性に優れ、屋根に染込み蓄えられた水分は蒸発し屋根を冷やす。31℃の外気より4℃も室温が低い。その室温よりさらに表面が低い土間と板の間は体から出る熱線を吸収し涼しさを助ける。これを「ひゃっこさ」と表現された。一方、離れは書院造で屋根は薄く軒が高く開口が大きい。室温は外気より1℃しか低くないが、通り抜ける風が体表の蒸気を奪い曇りが湿度の調節をする。



「箱木千年屋」中央が母屋、左奥が離れ

人体の温熱への感覚は温度、湿度、気流、着衣量、周囲の表面温度、活動量に影響される。これらをうまくコントロールしたのが伝統的住まいである。島根の茅葺屋根、新潟の積み石住宅、京都町屋の坪庭による気流効果、会津若松の土蔵造りの家、松本のこけら葺きの家などである。世界に目を向けても、それぞれ風土に適した住まいを持っている。イラクのベドウィンのテント、地中海性気候のひやっこい石の家、太陽熱を反射し夜は放射冷却をするギリシャの白壁の家、バンコックの水上の家、ほか多数披露され、これらを冷房でなく涼房と表現された。「涼房も女房も大切」と言われる。

100年で2倍になった大気中の炭酸ガス、温室効果ガスと言われ、地球を包んで温室でのガラスの役目をする。日本は2010年時点で1990年レベル発生量の6%減を約束している。現時点での実現見通しは暗い。その日本のCO<sub>2</sub>発生量の1/3は建物から、うち半分の17.5%が住宅からで、住宅を造るのに5.2%、使う時に12.5%である。住宅でのエネルギー使用は給湯、暖冷房、厨房、照明、家電で、給湯、暖房、照明調理に1/3ずつである。冷房は少ない。暖房温度を1℃下げると10%の節約、冷房で1℃10%、照明では100lx10-20%となる。省エネルギーとは我慢することではなく必要条件是満たし浪費をしないことと考えてほしい。

1940年代からのソーラーハウスの実例を多数披露され、講師の自宅に銅板銅パネルの窓を採用したお話も出た。さらに、エネルギーを使わないパッシブソーラーの工夫、すなわち、三重四重のガラス、床そのものが蓄熱材、二重窓の中の目隠しを兼ねる断熱集熱パネルなどが披露された。パッシブの考えは冷房にもあり、蒸発冷却、放射冷却、地中の恒温性利用、加湿冷却、天井扇などがある。この場合、冷房でなく涼房が言葉として適切で、伝統の工夫に対し現代での涼房である。レストランの天井扇がゆっくり回っているのは気持ちがいい。沖縄名護の草葺で地下室型の家、東電の半地下に沈めた実験ハウスなどを挙げられた。さらに太陽電池の家も数多く実証実験が進んでいると結ばれた。

豊富な事例と数値を元にしたお話で時間を忘れて聞き入り、地球環境問題に対する認識があらためてたかまった。私語も、居眠りもなく、普段の教室より熱心に聞いてくれたと感謝の言葉をいただいた。

(抄録：高部素行)

**同好会だより**

**ゴルフ同好会**

世話人 堀田秀夫 090-8339-7179

**@ 今年度第一回(第21回) 会長杯ゴルフコンペのお知らせ**

高部様のお世話により、名門狭山カントリー倶楽部の予約が取れましたので、お知らせします。  
4月17日(火)(当初18日を予定しておりましたが、予約が取れず変更しました。あしからずご了承ください。)



**狭山カントリー倶楽部**

入間市大字下谷ヶ貫492 Tel 042-936-1321

9:00から5組

料金(昼食費別)

70歳以上 14,000円 (運転免許証など証明する書類が必要です)

65歳以上 16,000円 (同上)

その他の方 21,045円

参加費・パーティ費・その他 約4,000円

皆様には奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、参加される方は、早めに堀田の携帯 090-8339-7179 までご連絡願います。

**@ 第二回会長杯ゴルフコンペの予定**

少し早いようですが、皆様に予定を立てていただくのに便宜かと存じまして、月森様に西武園ゴルフ場の予約を取っていただきました。予定の中に入れていただき多数のご参加をお待ちしております。

9月9日(日) 8:36から6組

**カラオケ同好会**

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071

新年明けましておめでとうございます。  
本年も明るく元気な一年でありますように祈念いたします。  
今後の開催予定につきましてお知らせいたします。

カラオケランド ズー 久米川店

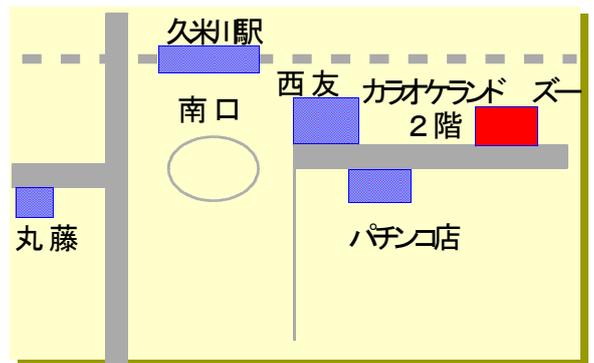
Tel 042-393-5522

久米川駅南口より2分

開催日 従来通り懇親会の後に行います。

2月3日(土) 19:00

なお、3月は3月3日(土)に行う予定です。



**旅行同好会**

世話人 風間和夫 TEL 394-5279  
小亀輝雄 394-6951



5月17日(木)~18日(金)「水上温泉」へのチャーターバス使用の第4回旅行会には多くの方の参加申し込みをいただき有難うございました。お陰をもちまして一応締め切らせていただきました。ご参加の方には後日詳細をお知らせいたします。

## テニス同好会

世話人 當間昭治 TEL 391-6023



1月の例会は6日(土)久米川コートで実施予定でしたが、朝からの雨で残念ながら中止、新年の出鼻をくじかれてしまいました。  
2月は是非好天を期待したいものです。当同好会は初心者集まり、新メンバーの方大歓迎です。  
2月と3月は下記にて実施予定です。

## 記

日時 2月12日(祭) 午前11時～午後1時  
3月17日(土) 午前11時～午後1時  
場所 両日とも久米川コート3

## 俳句同好会 (稲酔会)

世話人 高杉修 391-8447  
井垣和太 04-2924-2934

初めての試みであった12月の「通信俳句会」も、1月10日発行の句会報「稲酔」29号での結果発表をもって無事に終了。

14名の互選によって選ばれた最高点句は、6名の選者が選んだ

**煤弘仏の頬のゆるびたる 竜湖**

に決定しました。

次回の「稲酔会」句会は、2月24日(土)午後1時から「恩多ふれあいセンター」で開催します。

兼題は「春雷」です。兼題を含め5句を用意してください。

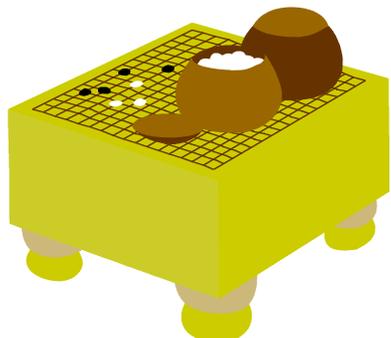
「春雷」(しゅんらい)：春の雷、初雷、虫出しの雷、虫出し

春に鳴る雷のこと、夏の雷と違って激しくはなく、一つ二つで鳴り止む事が多い。初雷は立春後初めて鳴る雷のこと。啓蟄のころよく鳴るので、虫出しの雷ともいう。単に雷といえば夏の季語。

再びの春雷をきく湖舟かな 富安風生  
春雷や牡丹の蕾まつ蒼に 川端茅舎

(稲雀記)

## 囲碁同好会

世話人 野村保夫 TEL 394-0417  
高鷲近 394-2336

## ●2月大会のおしらせ○

○2月の「冬の大会」は予定通り2月24日(土)開催と確定いたしました。

- 1) 当日は30分繰り上げ、12時30分から開始します。
- 2) 大会参加費(賞品代)として500円をご用意ください。
- 3) 大会方式は前回と同じく、級位者はA、Bの2リーグ、段位者はCリーグと3リーグ制で総当たり戦を行い、3名の優勝者を決めます。
- 4) 大会の数日前までに、世話人から出欠確認の電話を入れますので、ご協力お願い申し上げます。皆様多数のご参加を期待しております。

# 俳壇

高杉風至  
 ちやんちやんこきつき結論下しけり  
 炉へはたく一刀彫りの膝のくづ  
 をきな子の髪に寝ぐせや暖かし

内藤 慎  
 吹雪く中真向睨み鬼瓦  
 風よ吹け大風飛ばす河川敷  
 からっ風ビルの谷間を走り抜け

丸本北窓  
 成仏をかたはらに見る日向ぼこ  
 冬晴や風枝の間をつらぬきて  
 冬ざれて巷の雨の黙したる

八木竜湖  
 夜を叩く風が聞こゆる冬の家  
 元旦や日が石段を這いあがる  
 斑雪配達の音ゆるびたる

井垣稲雀  
 あらたまの龍雲に乗る日の出かな  
 履きつぶす一足の靴去年今年  
 寒椿メジロを抱きてなお余る

菊田一平  
 風が身を切るよ蛤御門出て  
 ふるさとの海はおほどかひめ始  
 外苑の鯉に御慶を申しけり



## 1月度「お誕生会」報告

担当幹事 芦田 均 393-7525

1月13日（土）磯久亭にて行われた新年会の中で、該当者21名中ご出席の9名の方々を対象にお祝いをしました。

三宅会長から、昨年の10周年記念行事が無事成功裏に終えたこと、また、1月というめでたい月にお誕生日を迎えられることは、二重の喜びである、とのお祝いの言葉に始まり、誕生の記念品をおひとりずつに会長から手渡され、滞りなく、和やかなうちに会は進みました。

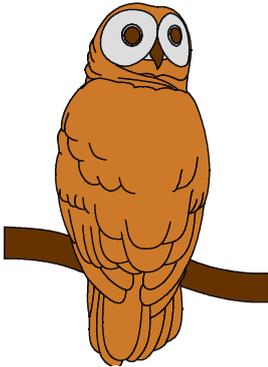
当稲門会が今日の隆盛を見るに多大なる貢献をされた、大西元会長から「返礼」とご自身の体験、特に最近の、ご病気から回復されたことなど、非常に印象に残る、貴重なお話をいただきました。

大西元会長はじめ、お身体に気を付けてお元気で！

### ・ご出席者（敬称 略）

大西幸夫、小野智、木谷肇、河野憲一、佐久間厚、高橋鶴次郎、堀田秀夫、成田豊太、夏山一彦





現代日本は最高度に発達した市場経済、貨幣経済である。あらゆる社会現象の動きの裏面にはカネの反対方向への動きが伴っているから、カネの動きを見ればすべてがわかると言っても過言ではない。

カネの動きを『家計貯蓄率』で見てみよう。

歴史的に見ると1970年代中頃までは20%を超えていた。その後、徐々に低下し21世紀には10%を下回り、他の主要国と比べて特に高いとは言えない水準へ低下してきた。

なぜ日本の家計貯蓄率は、このように低下しているのだろうか。

「ライフ・サイクル仮説」によれば、年代別に見ると若年層は貯蓄の余裕がなく、壮年期には余裕もでき旺盛に貯蓄して老後に備え、老年期には余生を楽しむ（ライフ・サイクル）。要するに老人は相対的に貯蓄率が低い、したがって老年層の割合の増加は社会全体の貯蓄率を下げると説明する。

また、家計貯蓄率の低下は、経済の将来に大きく影響する。

企業が生産する財・サービスが、利潤が上がる価格で売れるには、家計が消費のために買うだけでなく、企業が事業を拡大するために新投資需要を行う、政府が買う、または外国が買う（輸出）必要がある。

このうち新投資需要は将来の実物資本の増大（資本蓄積）となる。輸出は差し当たり輸出企業の利潤の実現であるが外貨の獲得につながる。政府支出はインフラ整備、等々のためである。これら将来の資本蓄積、その条件を保障するのが貯蓄である。

では年々の貯蓄の累計である貯蓄残高はどうか。

現在（2005年度）は総額で1500兆円である。

世帯数を5000万とすると1世帯で平均2800万円以上の金融資産を保有していることになる。

家計負債の90%は住宅ローンであるが、負債を差し引いた正味資産は現在1000兆円（世帯当たり約2000万円）を超える。

次に、日本の家計金融資産の構成は諸外国と比べて特徴がある。預貯金、保険・年金準備金で80%を占め、株式・出資金、投資信託、債券での保有はわずか18%に過ぎない。

また、日本の所得分布は偏りがひどくなっている。貯蓄残高を見ると、平均は1692万円であるが、大きき順に並べたメディアン（中位数）は1024万円、つまり少数の高額世帯が平均を引き上げている。

その富裕層の状況を見てみると、2004年には8.2%の富裕世帯（4000万円以上の金融資産を保有）が金融資産の37.2%（正味金融資産では49.7%）、総資産の24.9%を占める。また1999年から2004年にかけて富裕世帯の構成比の増加幅が1.5%であるのに対し、その保有する金融資産、正味資産、総資産の構成比の増加幅はそれぞれ4.9%、5.5%、4.1%と、富裕層への資産集中度が高まっている。

さて、資産の面からみて見ると、日本の資産全体（国富）は、非金融資産と金融資産に大別される。国富（正味資産）は296兆円（1970年）から2647兆円（2004年）に9倍に増加した。そのうち家計が保有する割合は62%から79%へ上昇した。

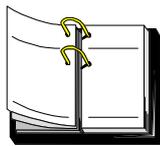
資産として、機械、建物など純固定資産は約100兆円（1970年）から1200兆円（2004年）へ12倍に増加し、家計が20%、企業が50%と保有する割合はほとんど変わらない。

他方、金融資産は268兆円（1970年）から5666兆円（2004年）へ約21倍に増加して、純固定資産と比較すると、いわゆる貨幣経済化が深まっていることが確認できる。

以上、今日のお金の動きの一部を見てきたが、最後に、資本主義は、存亡の危機に対応し、政府が多面で支える、言わば生命維持装置によって生き延びてきた。

すなわち、おカネがモノを言う市場経済で、おカネを持たない者の生活を守る途は安定した雇用と、まさかのときの社会的保障である。これが資本主義発展の教訓であったことをわすれてはならないだろう。

## 今月の予定（2月）



3日(土) 2月度役員会  
お誕生会  
カラオケ同好会  
12日(祭) テニス同好会  
24日(土) 俳句同好会  
囲碁同好会

## 3月上旬の予定

3日(土) 3月度役員会  
雑学講座  
お誕生会  
カラオケ同好会



## 編集局だより

編集局：小亀、中村

○ついこの間、お正月を祝ったと思ったらもう2月、月日の過ぎゆく早さをつくづく感じます。新年会は多くの皆様にご参加頂き有り難うございました。福引きの賞品をご寄付頂きました三宅会長、山下前会長、當摩彰子、當間昭治、風間各副会長、小亀事務局長、赤荻、岡田各幹事の皆様に厚く御礼申し上げます。

2月4日は「立春」春は間近です。風邪など召さぬよう、元気に冬を乗り越えましょう。

(事務局長 小亀輝雄)

○ここ数年よく目にする恵方巻き。節分に食べる太巻きの事で、節分の夜にその年の恵方に向かって、願い事を思い浮かべながら黙って丸かぶりするのだそうです。いままでずいぶん太巻きは食べてきましたが、未だに恵方巻きは食べたことがありません。恵方を向くと言っても正確な方角がわかるのでしょうか。その心配も方位磁石があれば大丈夫。付録の磁石目当てになんとコンビニで恵方寿司を予約してしまいました。これでやっと私も今年の恵方北北西に向かって恵方巻きを食べることができます。

○次号の原稿締め切りは2月21日です。よろしくお願いいたします。(中村)

## 新聞の社説のコピーを差し上げます

1月1日、1月8日(成人の日)の社説(朝日、毎日、読売、日経、産経、東京)を希望者に差し上げます。ご希望の方はお電話ください。

事務局 小亀 (394-6951)

## 第103回オペラ鑑賞会のお知らせ —清瀬稲門会—

期日：2月11日(日)午後1時30分～4時15分 (入場無料)

会場：アミューホール

清瀬駅前北口広場・生涯学習センター7階(1階りそな銀行)

曲目：レオンカヴァッロ 「道化師」(1時30分～2時45分)

マスカーニ 「カヴァレリア・ルスティカーナ」(3時～4時15分)